



7/12 旧村の発展と民生の安定に貢献 故佐藤昭則さん(第七駐在)

故佐藤昭則さん(第七駐在)が旭日単光章を受章され、久木野庁舎で長野村長から遺族の佐藤エツ子さんへ伝達が行われました。

故佐藤さんは、昭和50年から62年まで3期12年にわたり、旧久木野村議会議員として在職。建設常任委員、経済常任委員などを歴任され、旧久木野村の発展と民生の安定の貢献や、極めて厳しい財政状況の中、常に健全財政の整備確立に献身的に努められたことなどが認められての受章となりました。



遺族の佐藤エツ子さん(左)と長野村長

7/8 平和と豊かな生活に感謝 白水小学校3年生平和学習

白水小学校(大津昭一校長)の授業参観で、3年生11人を対象に佐藤多可雄さん(中松一)による平和学習が行われました。

佐藤さんは、戦時中小学3年生で、十分な食べ物に恵まれない中、必死に生きてきたことや、中松駅に入ってくる列車が銃撃されるのを目の当たりにし、その銃弾の跡がホームに今でも残っていることなど体験を語られ、子どもたちに命の大切さと平和の尊さを伝えられました。

終わりに、「子どもたちには、大人になっても戦争のない世の中を作ってほしい。そして、自分の命を大切に生きてほしい」と願いを話されました。



戦争体験を語る佐藤多可雄さん(左)

7/16 後輩たちを元気に 南阿蘇中学校陸上部にランニングシューズ贈呈

旧白水中学校陸上部出身の大塚良軌さん(中松三)と、スポーツメーカーの「ニューバランス」から南阿蘇中学校陸上部にランニングシューズが贈られ、同部員に配布されました。

贈られたのはランニングシューズ70足。現在、愛知製鋼陸上部(愛知県東海市)に所属している大塚さんが、熊本地震の被害を受けた子どもたちに元気を出してほしいとの願いから同中学校陸上部の後輩たちにシューズを贈られたものです。

シューズを受け取った部員たちは、嬉しそうに手にすると、次の大会へ向けての意気込みを見せていました。



ランニングシューズを嬉しそうに手にする南阿蘇中学校陸上部の部員たち

7/13~14 運動で笑顔と元気を B&Gフロアリズム教室in南阿蘇

熊本地震で被災した本村の園児に、身体を動かすプログラムを提供し、心身のリフレッシュを図り、笑顔と元気を取り戻してもらおうと、公益財団法人B&G財団が、村内3つの保育所を訪れ、「B&Gフロアリズム教室in南阿蘇」を開催しました。

ちょうよう保育園では、年中児16人と年長児19人が参加。それぞれのプログラムに分かれ、フラフープをくぐりながら進む運動や、マット運動(横転・前転・後転)、大縄跳び、リレーなどに挑戦しました。

年中児の古庄董さんは、「とても楽しかったです」と感想を話してくれました。



マット運動で後転に挑戦する園児たち